

東北大学クリニカル・スキルスラボ講演会

『赤ちゃんの命を守るために ～乳幼児突然死症候群の理解と予防～』

11月27日（日）、東北大学医学部長陵会館記念ホールにて「乳幼児突然死症候群（SIDS）の理解と予防」講演会が開催されました。約80名の方のお申込みがあり、普段から乳幼児と接する機会のある方が大半を占めていましたが、理解を深めたいと参加された方もいらっしゃいました。

仙台市立病院救命救急センター長 村田祐二先生より、乳幼児突然死症候群とは、健康状態および既往歴から予測できず、しかも死亡状況および剖検によってもその原因が不詳である乳幼児に突然の死をもたらした症候群のことを差し、知る事そして危険因子を理解することも重要であるとお話をいただきました。

また、SIDSによりお子様を亡くされたご遺族である西村洋平様より、ご家族とご自身に起こった事、その経験から生まれた考えや、気持ちをお話していただきました。「今日をきっかけに、子どものためにできることは何でもやってあげて欲しい」とメッセージが伝わってきました。

最後は参加者一人一人が乳幼児の心肺蘇生法と気道異物除去を実際に体験することで技術の習得も深め、実際にそういった場面で自分はどんな事が子どものためにできるか、体感することができました。

